

全国の情報は国立感染症研究所感染症情報センターホームページにてご覧ください。 <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

インフルエンザ情報

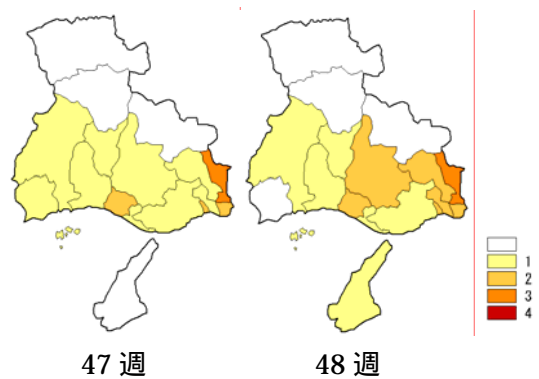
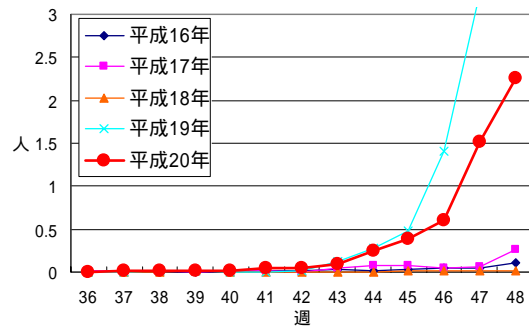
インフルエンザの定点あたり患者数は **2.26 人** となり、流行開始の目安となる 1.00 人を超えて患者数が増加しています。地域的には伊丹保健所管内の定点あたり患者数が先週に注意報基準である 10.00 人を超え、今週は 13.25 人となりました。全国的には 47 週現在、山梨県と並んで兵庫県が注意報レベルを超えています。

学級閉鎖等の累計数は 11 月 28 日現在、全国では 79 施設で欠席者数 1,039 人、県内では 28 施設、273 人となっています。

インフルエンザウイルスの検出は、全国では A/H1 (A ソ連) 型 19 件、A/H3 (A 香港) 型 40 件、B 型 36 件となっていて、3 つの型が入り混じっています。県内では神戸市で A/H1 (A ソ連) 型 1 件、A/H3 (A 香港) 型 5 件、B 型 (ビクトリア系統) 2 件、尼崎市で B 型 (ビクトリア系統) 1 件が検出されています。

インフルエンザは流行が始まると急速に患者数が増加することから、今後の動向に注意が必要です。

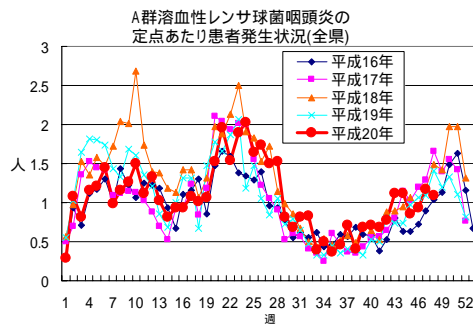
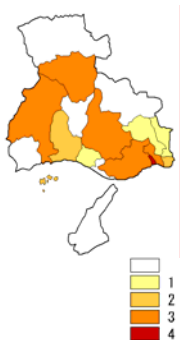
インフルエンザの定点あたり患者発生状況(全県)(第36週～)



定点把握感染症 (指定された医療機関から報告を求める感染症です)

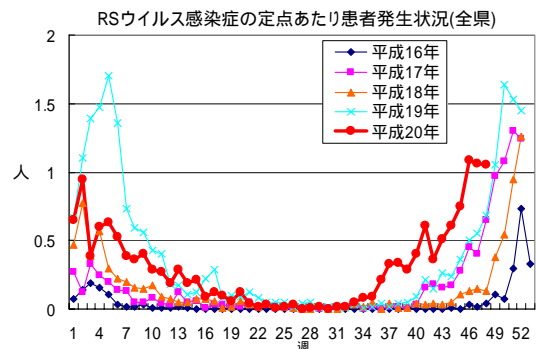
A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎

今週患者数は減少しましたが、年末の流行ピークに近づいています。



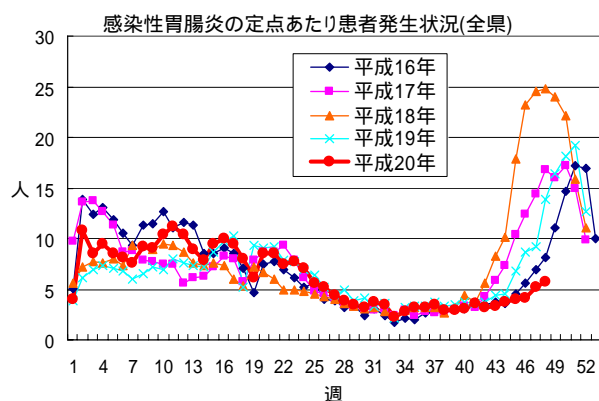
RSウイルス感染症

先週に続き患者数がわずかに減少しましたが、依然として患者数は多く、これから年末及び年始にかけて更に患者数が増大する可能性があります。



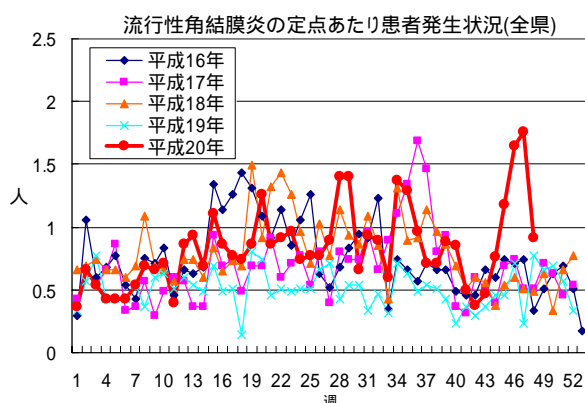
感染性胃腸炎

今シーズンは流行の立ち上がりがゆるやかですが、例年、これから年末にかけて患者数の増加が見られますので注意が必要です。



流行性角結膜炎

今週患者数は急減しました。地域的には依然として尼崎市の患者数が多くなっています。



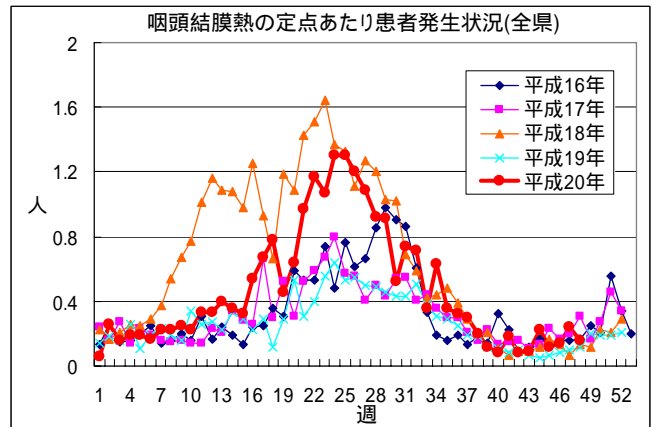
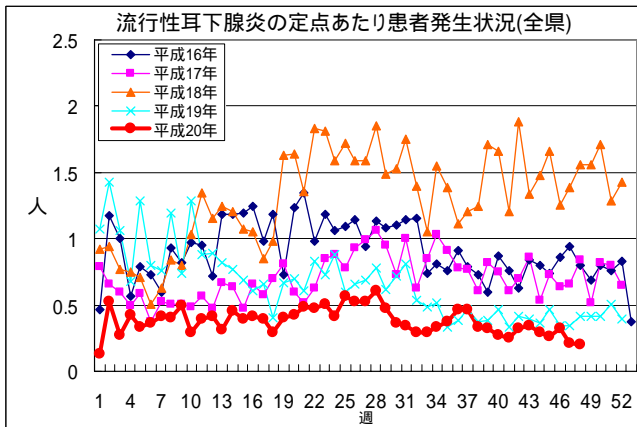
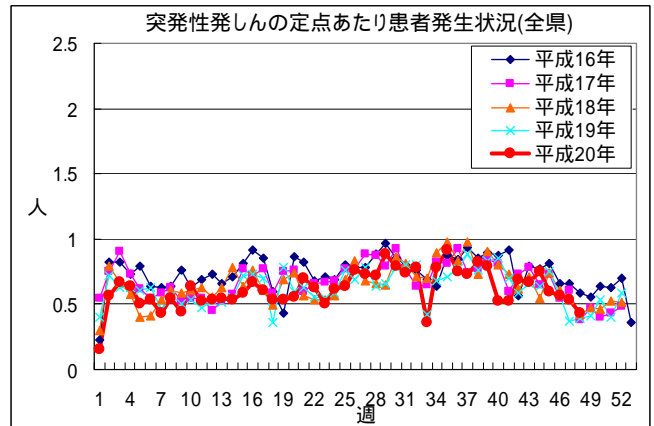
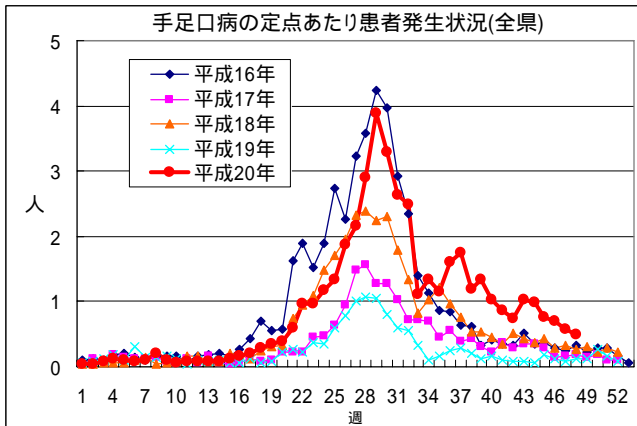
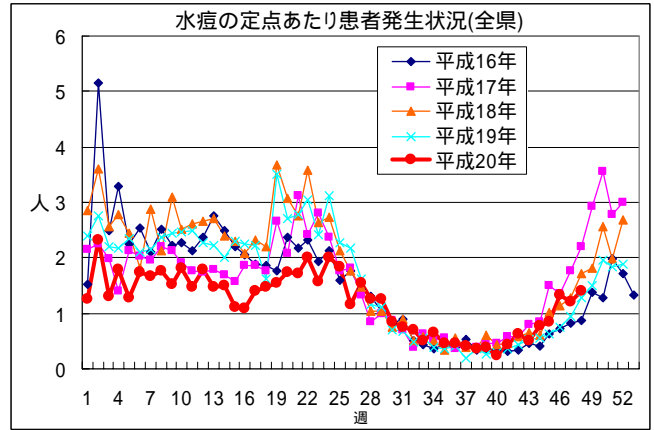
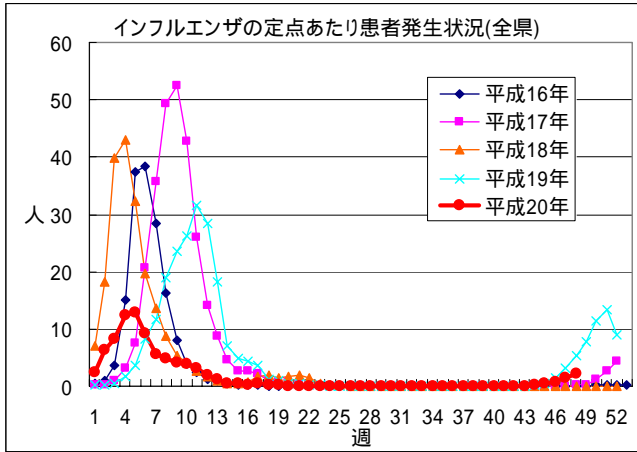
定点あたり患者数の上位 10 位の疾病

	疾病名	定点あたり患者数		増減		疾病名	定点あたり患者数		増減
		今週	先週				今週	先週	
1位	感染性胃腸炎	5.74	5.20	+0.54	6位	流行性角結膜炎	0.91	1.76	-0.85
2位	インフルエンザ	2.26	1.52	+0.74	7位	手足口病	0.49	0.57	-0.08
3位	水痘	1.41	1.21	+0.20	8位	突発性発しん	0.43	0.53	-0.10
4位	A群溶血性球菌咽頭炎	1.09	1.17	-0.08	9位	流行性耳下腺炎	0.20	0.21	-0.01
5位	RSウイルス感染症	1.05	1.06	-0.01	10位	咽頭結膜熱	0.16	0.24	-0.08

全数把握感染症 (すべての医療機関から報告を求める感染症です)

1類感染症	報告はありません。
2類感染症	結核 25名 (神戸市13名、尼崎市1名、姫路市3名、西宮市2名、伊丹保健所管内1名、宝塚保健所管内3名、明石保健所管内1名、龍野保健所管内1名)
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症 3名 (神戸市2名; 0128VT1+, 0157VT2+, 加古川保健所管内1名; 0146VT1VT2)
4類感染症	報告はありません。
5類感染症	後天性免疫不全症候群 1名 (AIDS)
追加報告	結核 5名 (尼崎市2名; 第44週, 第47週、社保健所管内3名; 第46週, 第47週2名)

目で見える動向（県内）



この週報は兵庫県立健康環境科学研究所ホームページ <http://www.hyogo-iphes.jp/> にも掲載しています。

また、<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html> から国立感染症研究所感染症情報センターの週報(IDWR)がダウンロードできます。